

さわやか通信

令和2年10月1日発行

No.22

株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成12年12月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 筑紫地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念 住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
基本方針 利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」

あ
る
が
ま
ま
に
楽
し
く
や
つ
た
り
と

さわやか憩いの家二日市

利用者 Nさん



絵 園田 真澄

【20年の道】



令和になり、自然災害の脅威を感じながら共存していくことを模索している今日この頃です。ひとりひとりが自分の命と向き合いながら、今、何を「人」は求められているのか、考えさせられています。

今年は、さわやかテラスを開設して20年目です。前号に記載しました、20周年講演会も中止の判断をいたしました。やむを得ないことですが、今は自粛をし、できることを考えていく時だと思えます。

そんな中でも、嬉しいことは、かかりつけ医の横溝先生と大西先生の存在です。新型コロナウイルスの心配や相談をすると、「大丈夫。何かあれば相談にのるし、心配なら保健所に相談したり検査もできるからね。」と言ってくださったり、先日も大野城で濃厚接触者として入居者の方に疑いがあつた時も、保健所の判断を待たず、PCR検査のキットを取り寄せてくださって、先生が検査の検体採取を自ら対応してくださったことが、何よりもありがたく感じました。検査結果も早くで陰性だと分かり、スタッフみんなが安心したところでした。

自然の驚異を感じながらも、全事業所のスタッフが、ひとつのことに精一杯対応したり、他の事業所に何かあれば、全スタッフが思いやりをもって、行動したりと、悪いことばかりではないと実感しています。

スタッフの心得に、「相互扶助の精神をもつ」という言葉があります。

例えば、各責任者7名のうちひとりでもLINEを通じてSOSを発信すると、みんなで何ができるのかどのように協力し行動するのか、すぐに共有します。そして互いに助け合い、互いにおもいやり、支えあうことが大きな苦難を乗り越える力になっていると感じます。また、そのことを全事業所108名全員が、遠く離れていても互いにおもいやれるスタッフに育っていることを実感します。

まだまだ人材育成に関しては課題が多いのですが、今後もひとつの山があれば、みんなで乗り越えていく相互扶助の精神を大切にしていきたいです。

記念講演会は中止になりますが、講演の内容については、小冊子にまとめ、みなさまの手元にお届けする予定にしています。

最後になりますが、さわやかテラス二日市の移転先の工事がすすんでいます。来年の春先に引越しの予定です。春には、ワクチンの開発が進み明るい兆しが見えていることを心から願うばかりです。

いましばらくは、自粛が続くと思いますが、皆様のご健康をお祈りいたします。



(さわやかテラス二日市さわやか憩いの家二日市)

統括責任者 田中順子

【若年性認知症講演会】

令和2年8月30日に若年性認知症講演会が行われました。統括責任者の山城裕美が「ボランティアからスタッフへ」というテーマで講演をさせていただきました。

2年前に福岡県若年性認知症コーディネーターの中村益子さんのご紹介で若年性認知症と診断を受けたAさんと知り合いました。送迎を行いながらAさんと話し合い、グループホームで働くことになりました。ボランティアからアルバイトを通してのAさんの変化、スタッフの変化とこれからの発表でした。

講演後には「こんなに出来ることを考えて下さる所は他にはないよね」とありがたい言葉をいただきました。尊厳を守りながら、その人らしく、スタッフも一緒に考え、支えている。一緒に悩み、一緒に楽しんでる支援者があるため、当事者一人で悩まず、周りに相談する勇気を持つことをこの講演会で学びました。

新型コロナウイルスで人と人との距離は離れていますが、気持ちまでは離れずに、相手の気持ちを理解しようとするこの大切さを改めて感じました。



(さわやかテラス春日 長野 太一)

☆少し深い話し話

このコロナ禍の時だからこそ日頃の思いを語りたい。
7つの事業所にいる責任者補佐7名に、心に残る出来事について語ってもらいました。

『豊かな人』

最近、自宅に居ても携帯電話ひとつで、外国や観光地を旅行した気分を味わえる便利な機能があるそうです。お年寄りとの関わりの中でこれまでの職業や暮らしの様子を聞く機会が多くあり、話を聞きながら、その方の話し方や雰囲気から活躍されていた頃の姿を想像し、私もその時にタイムスリップした気分になります。楽しい話ばかりではありません、辛かったことや、苦労したことも話して下さり、もらっています。目で見る景色も良いですが、その方の人となりに触れ、相手を感じることで一緒に思い描く景色も輝いています。これは携帯電話では検索できない世界です。また、寄りそい、向き合っ



ことでもらえる景色でもあり、皆さんから頂いている素敵な時間でもあります。

一緒に見る景色も、想像する景色も大切に自分自身の世界を広げていける、豊かな人になりたいです。

(さわやか憩いの家大野城中央 田中しのぶ)

『久子のエンジョイ介護ライフ』

私の祖母は94歳で亡くなりました。亡くなる1年前前から寝たきりの状態でしたが、ひとり暮らしを続けていました。祖母の介護をしていたのが母の妹、久子でした。近所には夫と息子の3人家族で住んでいましたが、仕事を続けながらの介護で、仕事の合間に朝、昼、夕の食事、おむつの交換と日に4〜5回お手伝いに行っていました。いつも楽しそうにしている叔母の顔が印象に残っています。

叔母は元々明るい性格でお盆やお正月に子ども、孫、親戚が集まると得意の三味線で(あまり上手ではなかったですが…)炭坑節を弾いては歌や踊りで賑やかでした。亡くなった時もしんみりとした感じはなく、賑やかしく送りだすことができ、そんな風に祖母も望んでいたと思います。介護を一手に引き受けていた叔母に涙は無く、どこかすっきりとした表情で「やるだけのことはやった」という気持ちがあつたと思います。

今、さわやか憩いの家大野城中央では、一人暮らしの方々の訪問を日に数回行っています。住み慣れた家、地域で暮らしを支えるということが、祖母の介護にもあつたことを実感しています。



(さわやかテラス大野城中央 吉田 千春)



『生涯家族をおもつ気持ち』

昨年の今頃、Aさんと出会いました。英語が堪能で、フラッツクコーヒーと音楽がお好きと聞き、お部屋で音楽を流し、英語で話しかけてみたり。時々アハハと笑っておられました。次第に食事が入らなくなり、「ご家族の希望で『自宅へ帰る』ことになりました。そこからAさんの本領発揮。時折アハハと声も出て家族の会話に加わっているかのようでした。生涯を家族のために尽くしてきた母だったとご家族から聞きました。最期の時間を家族と共に過ごし、安心して旅立たれたことと思います。4ヶ月のかかりでしたが、多くを学ばせていただきました。



皆さんに言えることですが、元氣だった頃を知らないからこそ聞き取り、かかわりの中で表情や仕草から読み取ったりしながら寄りそうケアを日々行っています。Aさんとかかわりを通して、今どうしてほしいのだろう…本人のおもいや願いを改めて深く考えるようになりました。慌ただしくしていると自分の思い込みで対応してしまいがちですが、本人のおもいや願い、今どうしたいのかを常に考えながら、これからも皆さんが心地よい生活を送れるよう、お手伝いしていきたいと思いません。



(さわやかテラス大野城 秋吉 裕美)

『若き頃のニワトリをおもつ』

さわやかテラス春日のリビングでは、お話好き、仕事好きな方が沢山おられる。「何かすることない?」「それしようか」と声をかけて下さり、一日が始まる。



Tさんはティータイムを過ぎた頃になると「今日は誰が送ってくれると?」「16時に帰るとよ。」「今日は連絡があつてお泊りになっていますよ」と言う。「誰が言ってきた?息子?」「りよんさん?」「りよんさんですよ」「実家に帰つるとよ」と言われる。ある時は「息子さんですよ」と答えると「今日は外食しよう」と話される。次に決まると言われるのは、「ニワトリにエサをやらなにかんとよ。一日もやらんやつたら死んでしまうけん」と言われ、毎日エサをやつて元氣に育っている事を話をする。「そうね、ニワトリはすぐ死ぬけんね」と、ニワトリを大事そうに思つて言われる。「じゃあ、今日は泊まらせてもらつていいと?」「と安心される。「この様な会話が毎日のように繰り返される。

現在、ニワトリは飼つていないが、若き頃に大切に育てられていた思い出を大事にして一緒にその頃の様子を頭に思い浮かべて話を弾ませている。ニワトリは春日の町コケコッコと鳴いていたのかな?雄?雌?どちらだったのかな?



(さわやかテラス春日 尾籠 安子)

『季節を感じて』

ある日、リビングソファで過ごされている女性利用者おふたりに「ちよつといいですか?」と声をかけて外にお誘いした。何だろうかと不思議そうに顔を見合わせて私の後をついてきて下さった。建物のかどを曲がった瞬間、「わあ〜!」「あらー、きれい!」とおふたりは目が覚めたように声を上げて、色鮮やかに咲く紫陽花に足早に近寄られた。手にとつて「去年も咲いてたわね。」「見てごらん、この紫がいいとよ。」「笑顔で会話が弾んでいる。おふたりが驚かれ、喜ばれる姿を見たくて、憩いの裏側にお誘いした。去年の春、武蔵寺の藤の花を見に行った。「昔から毎年見に来てたよ。」「言われ、押し車を使って砂利道をゆっくり歩かれる。車椅子を準備していたが必要なかった。毎年のように、自分で歩いてお参りをし、花も見たいとの気持ちで、伝わつて来たことを思い出す。

私は今まで、季節ごとの景色を何度も一緒に見てきた。閉じていた目が開いたり、普段、語らない言葉が出たり、昔を懐かしく思い出されたりと、皆さんそれぞれが自然からパワーをもらっているのが分かる。その姿に私は元氣をいただいている。

四季折々の景色を「今年も見れたね、また来年も見ようね。」「と言える機会をこれからも作つていきたい。」「口ナ対策、もちろん考えながら…」



(さわやか憩いの家 春日 杉本 妙子)

『わたしは何歳?』

7年間一緒に過ごしたYさんは、明るく笑顔の絶えない、周囲を元気にさせてくれる方でした。時には厳しく礼儀を教えてくださいました。大正生まれの代表と言える方で、家を絶対に守らなければならぬ。他人の世話にはならぬ。節約・昔氣質な女性という印象でした。



そんなYさんとの思い出は、私子どもを連れてくると「あんたの孫ちゃんね」と毎回言われるので、「私いくつに見えますか?」と聞くと、「80ぐらいやろ。」「次の日も」「緒ぐらいやろ。」「何度聞いても、「え?一緒くらい?」と。驚きでした。Yさんは96歳。私は30代だけです。でも80・90歳はないだろう!と正直最初はショックでした。しかし、今日は何歳に見えるかなと、そんなやりとりもいつしか楽しみにになりました。

Yさんが亡くなって10ヶ月が経ちます。最期は、望まれていた100年続くご自宅、家族・スタッフ、かかりつけ医・近所の皆さんに見守られ他界されました。まだまだ沢山の思い出があります。これからもスタッフみんな語り続けたいと思つています。



(さわやか憩いの家二日市 溝上 沙織)

『みえない力』

Iさんは、身体が思うように動かないこともあり、さわやか憩いの家二日市を利用されてきました。お髭が長く、泣く時にはひょうきんな表情をされる方で、印象深いのはお笑い番組を見ながら、「はつは!これいいねー。」「と全力で笑っている姿でした。テレビの中のお笑い芸人さんはすごい!と感動したことを思い出します。



その後、グループホームさわやかテラスで生活されるようになり、てんかん発作を繰り返されるようになり、奥様が自宅でみてあげたい。と希望され、家族と猫ちゃんに見守られながら1週間後に亡くなりました。テラスでは呼吸さえも苦しそうにされていましたが、ご自宅の匂いや雰囲気を感じ取られたのか、家のベッドでしばらくするとリラックとした表情で、呼吸も穏やかになりました。

お笑いや住み慣れた家など見えない底力を発見しては、日々みなさんと過ごしています。さわやかテラスが入居されたみなさんにとって、家や別荘としてリラックスできる環境づくりに努めていきたいです。



(さわやかテラス二日市 佐伯由美子)

—あの日・あの時—

私は食べる事が大好きで、料理やお菓子作りを好んで行っており、おやつ倶楽部は私の担当する利用者さんのためのプランでしたが、家庭で料理する機会がほとんど無くなった利用者の方々は他にも多くおられ、声かけすると「こんなことしたことはないけん楽しいね」と興味を持たれ参加されています。現在は月に一度話し合いを行い、幼い頃に食べた懐かしいおやつや作ってみた物など、メニューを決めています。



6月は関西でこの時期に食べられる『水無月』という三角形のういろうの上に小豆を乗せた和菓子を作り、水無月は6月30日に『夏越の祓』の為に食べるお菓子です。水無月は曆上では6月の事を指します。室町時代、氷を食べる事で夏バテ予防をするという風習から宮中で行われた行事でした。

当時の庶民の方々は高級品である氷を手する事は出来ない為、その代わりとして氷に似たお菓子を食べる事で夏バテを予防するという事になったそうです。三角形は氷を表しており、小豆は邪気払いや悪魔祓いという意味で乗せられています。「夏越の祓」とは1年の半年の穢れを落とす意味があり後半の半年間を無事に健康に過ごすことが出来るよう祈禱する全国各地の

神社で行われる行事です。お菓子一つにこのような言われがあるのとても興味深いですね。

これからおやつ倶楽部の皆さんが興味を持たれ楽しんでおやつ作りが出来るようお手伝いしていきます。と思っています。



(さわやか憩いの家大野城中央
おやつ倶楽部会員 No.0 番 富田 まゆみ)

【コロナ対策グッズの紹介】
さわやかテラスさわやか憩いの家ではうがい手洗いの徹底のほかにこのようなグッズを使用して感染防止に努めています。

ミントガード

エタノール50%配合のアルコールスプレー。

天然由来のミントエッセンスが配合されており、除菌しながらミントのさわやかな香りを楽しめます。



シカハンドクレンジジェル

アルコール75%配合。ヒアルロン酸も配合されているためしっとり

潤うハンドジェル。手荒れに悩むスタッフの強い味方。



VB おしぼり

科学の力でおしぼりを抗ウイルス・抗菌にパワーアップ。ウイルス・菌の働きを

99.99%以上も抑制できるおしぼりです。これ1枚で全身拭けるスグレモノ。



編集後記

さわやかテラス二日市が、建て替えて、現在少し離れた場所に建築中。まだ実感がありませんが、改修型のグループホームでありながら、随分環境に助けられた二十年だった。環境というのは、ほどよくという意味。ほどよく田畑があり、ほどよく変わらない。初めて来る人は、道に迷う。見えているのに辿り着かない。地域の人に助けられ、何より住んでいる皆さんに助けられた。スタッフの手際の悪さを、褒めながら育て時には自由に外を歩こうとするとスタッフが心配そうに付けてくる。またかと思つて話をしてあげるうちに、スタッフの方が安心した顔をみる。朝になり、玄関の鍵を開け、玄関の下駄箱の棚をお年寄りが片づけ、畑にでる。スタッフは畑の虫だけでおじけづく。スタッフを二十年かけ育てたのは、入居者の皆さんだった。最期の一息まで「生きる」姿を見せてくださって、今がある。

まだまだ教育が足りない。時々スタッフ「薬のませました」「やっと寝ました」「お風呂いれました」「介護はできる」と声が聞こえることがある。人を考える努力が足りない。原点である、さわやかテラス二日市の古びた建物でも、スタッフが育ててきた。あと数ヶ月を大切にしたい。

(広報担当) 田中 順子・石丸 雄司・宮内 幸
園田 真澄・入江 文

ウェルフェアネット令和2年度の活動

社外研修・セミナー参加

- 日本認知症ケア学会
- 日本ホスピス・在宅ケア研究会
- デンマーク研修・台湾研修
- 日本セラピューティック・ケア協会
- 全国小規模多機能居宅介護事業者連絡会
- 九州地区での各種研修
- 他事業所との合同研修

各団体との関わり

- 福岡県高齢者グループホーム協議会
- 筑紫地区やさしい福祉「結の会」
- 福岡県介護福祉士会
- 筑紫地区小規模多機能連絡協議会
- 大牟田認知症ライフサポート研究会

地域との関わり

- 各地域の自治会・育成会・老人会等
- 地域の保育園・小学校
- 民生委員・福祉委員
- 各地区の地域包括支援センター
- 筑紫野市介護を考える家族の会
- 春日市介護をかかえる家族の会「ひだまり会」

相談会や講座開催に積極的に協力

- 認知症サポーター養成講座
- 社外実習生の受け入れ
- 公民館活動との連携
- 災害広域相互協定の推進
- 20周年記念プロジェクト

筑紫野市

グループホーム さわやかテラス二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1
TEL 092-918-0045 FAX 092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺534-3
TEL 092-918-3830 FAX 092-918-0255

大野城市

グループホーム さわやかテラス大野城

〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5-29
TEL 092-513-7511 FAX 092-513-7512

グループホーム

さわやかテラス大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0352 FAX 092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0322 FAX 092-501-0323

春日市

グループホーム さわやかテラス春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3307 FAX 092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3531 FAX 092-588-3308

株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番405
TEL 092-582-0757 FAX 092-582-0847



検索してね!

検索 さわやかテラス